

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。また、この資料に含まれている製品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。



テルモ株式会社

2024年8月9日

2025年3月期 第1四半期 決算説明会 質疑応答

2024年8月8日に開催した決算説明会における質疑応答は下記の通りです。

山口様：シティの山口です。ありがとうございます。

通期の会社予想は動かしていないんですけれども、パッと見の進捗率は良いように見えるんですけど、御社の中で、もしQ1の元々の想定みたいなものがあれば、それに対してQ1の実績は上振れているのか、下振れているのか、もしセグメント別にそういうのがありましたら教えていただけますでしょうか。それが一つ目です。

テルモ 三好：ありがとうございます。こちらの部分に関しましては、萩本から答えていただきたいと思います。

テルモ 萩本：前者に関しましては、もちろん為替のインパクトの部分もございますので、トータルで見ますと好調な状況と考えてよいかと思えます。

一方、年間の想定を考えますと、われわれが年初に想定しました為替レートと現状の為替レートがかなり近くなっておりますので、先ほど申し上げましたとおり、ファンダメンタルズとして事業としては計画どおりに進捗しているという部分がありますけれども、下期以降、2Q以降に関しましてはちょっと慎重に見ているということになっております。

山口様：ありがとうございます。

二つ目がRikaですけれども、前回の開示では60センチですかね、アメリカのCSLの。そのセンター

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。また、この資料に含まれている製品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

にどのくらい出しているのか、あとはセンターを入れ替えているスピードとか、その辺の進捗状況についてアップデートがあれば教えていただけますでしょうか。

三好：山口さん、ありがとうございました。こちらは私からお答えさせていただきます。

Rika の現在の状況ですけれども、本日時点で 98 センターまで開設することができたと聞いております。

本当に 100 センター目前ということで、進捗としても非常に順調に進んでいる状況でございます。2025 年の春から夏にかけて導入完了というのが元々の想定でございますので、オントラック、オンスケジュールということで、そういった認識でございます。

山口様：ありがとうございます。以上です。

三好：ありがとうございます。

徳本様：日興証券、徳本です。よろしく申し上げます。

説明会を途中で入ったのでお話があったらすみませんが、このファーストクォーターの売上を整理したときに、一過性に近い需要として、改めて項目と、可能であれば金額の規模感としてどれくらいあったのかを教えていただけますでしょうか。

萩本：それでは、そちらは私から。

こちらで一過性と話しているのは、いくつかの要素がございます。まず一つ目が、中国の VBP に関しての買い控えが昨年起こったこと。こちらで通常のトレンドに比べますと、昨年の売上状況が低かったというのがまず一つ。続きまして、ほかに、北米で供給の部分が不安定だったということもございまして、北米の、特に TIS 事業における減収が昨年記録されました。

そういうものに比較しますと、今期に関しましてはトレンドが復調しているということで、前年比較で見ますと、そういった一過性の問題があると考えての提示となっています。

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。また、この資料に含まれている製品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

数字に関しましては、別途また三好より。

三好：今、萩本が言った前年の特殊要因の部分ですけれども、昨年ですけれども、同期にニューロの一部商品の供給問題があったり、あとは中国の VBP をにらんだ代理店の買い控えなどで、10 億円ぐらいですね。この辺がちょっとインパクトがあったり、あとご存じだと思いますけれども、TIS のアクセス製品の部分も、一部供給にちょっとディレイがあったりという、この辺も 5 億ですね。この辺がありまして、総額で、特殊要因としては 20 億円分ぐらいが、去年の売上の中でちょっと縮小していたという部分。

それに対して今年度は、一過性という観点から言いますと、特殊要因としましては、TIS の中国の部分ですね。先ほど VBP で価格の部分下がったという話でしたけれども、その一方、代理店で少し在庫の積み増しといたしますか、どちらかという、今まで少し抑えていたものが、ようやく戻ってきたということで、ここはわれわれの想定以上に少し在庫が出たということで、この辺がプラス 9 億ぐらい。

あとは、対前年から少しディレイでありましたニューロの部分が今年から復調しておりまして、こちらで 7 億ぐらい、製品がちゃんと出ておりますので、この辺が回復基調となっております。この辺で 30 程度、プラスで効いているということで、今回いい数字が出ているという形になります。

徳本様：これは TMCS の北米の一時的な需要拡大。

三好：すみません。北米の HCS の部分ですけれども、こちらは獣医市場が非常に好調です。こちらの獣医市場の代理店さんの在庫が、非常に積み増しがございまして、こちらが 7 億ぐらいございまして、そこら辺分も一時的な要因として、ファクターとして含めております。

徳本様：そういうのをもろもろ入れると、30 億。

三好：はい、30 です。

徳本様：ありがとうございます。

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。また、この資料に含まれている製品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

二つ目で、心臓血管の中の血管事業、ここも昨年から好調ではありつつ、心臓血管カンパニーの中でもすごく強かったと思うんですけど、地域別に、ここまでの強さが何に起因をしているのか。一方、中国は数字の絶対数が少ないというのはあると思うんですけど、減収だったと思うんですけど、ちょっと血管事業にハイライトして、事業環境を教えていただけますでしょうか。

三好：血管につきましては、グローバル全体で非常に順調に進捗しています。特に北米、あと欧州で非常に大きく伸長してございますけれども、こちらは昨年来から営業部隊を強化したり、TREGO、リレーですね、あと Thoraflex Hybrid、こちらの展開が非常に順調に進んだということもございまして、非常に強く伸びている状況になります。

欧州の TA の部分に関しましては、ステントグラフト系の商品が特殊なフェネストレイテッド商品といわれる、各患者さんに合わせたテイラー品のものが非常に順調に進んでいるということで、こちらは通常の製品に比べますと、付加価値が高く、ASP が高い製品を供給できているということで、こちらで大きく伸長している形になっています。

徳本様：分かりました。ありがとうございます。

甲谷様：甲谷です。

先ほどの話の、一過性のところの売上が増えたところですけど、さらに分けて、TMCS と C&V で分けると、30 億のうちどのぐらいが C&V でしょうか。

三好：前年度の特殊要因の部分につきましては、20 億という話をしましたけれども、そのうちニューロが 10、TIS のアクセスが 5 ということで、15 です。あと、5 が MCS の部分になります。こちらは PS の関連の部分になります。こちらの部分で少し売上が縮小していた部分がございます。

今年度の特種要因の 30 の部分に関しましては、C&V でいうと、TIS の中国の部分がプラス 9 と、ニュー

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。また、この資料に含まれている製品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

口の部分がプラス7ということで、だいたい16ぐらい。一方で、MCSの部分で、先ほど申し上げました北米のHCS、これは獣医の代理店の部分がプラス7。

あと、先ほど申し上げませんでしたけれども、われわれは4月にBSNですね、こちらはストッキングとか、そういったものの取り扱いをしておりましたけれども、こちらを別の業者さんにお渡ししたんですけれども、その一部の商品、最後、第1クォーターの中で売上が少し上がった、計上されたものがございまして、こちらが6ぐらいです。

ということで、7足す6で13ぐらいがMCSに関連するものになります。

甲谷様：去年の20億というのは、一過性で減っていて、今年はこれが戻っているんで、この30億という理解でいいんですよね。

三好：はい、そのとおりです。

甲谷様：分かりました。

2点目、最後ですが、Rika以外にも、今年のニュースフローとしてやはり期待しているのがCDMOのところ、御社は今まで国内で頑張っていたんですけど、海外のところでも案件があるかもしれない、みたいな話だったんですけど。

その進捗状況に加えて、TMCSで、海外で北米のPLAJEX好調というのは、フリオとかになりますと、あれは高崎に売っているはずなので、日本で計上しているから、今は北米で出ているものという、たぶん結構マイナーな製品のPLAJEXを使っているのかなと思うんですけど、私が知っている限り、あるジェネリックの製品とか最近出たものに使っているというニュアンスですか。これはどういうふう在海外での北米のPLAJEX好調というのを受けたらいいのか。

繰り返しますと、新しいCDMO案件はいつ頃発表になりそうなのかというのと、この北米のPLAJEXは

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。また、この資料に含まれている製品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

何を意味して好調なのかというのを教えてください。

三好：ありがとうございます。

では、一つ目の部分の、海外発の CDMO の部分に関するアップデートではございますけれども、7月にその契約の合意の部分に関しましては締結が済んでいるということになっております。ただ、先方のある話ではございますけれども、社名等、その辺は今回は控えさせていただきますが、われわれは CDMO ビジネス、海外とのパートナーをとってお話をずっとしておりましたけれども、ようやく契約合意まで結びつけたということで、大きな一歩と見ておりますので、今後もぜひ期待いただければと思っております。

また、もう一つ、北米の PLAJEX の部分でございますけれども、こちらは米国の製薬会社さんに商用化されるということで、供給をしているといった形になります。こちらは、基本的には CDMO というよりは、PLAJEX のシリンジの部分、こちらが展開していくという予定となっております。

甲谷様：確認ですけれども、まず CDMO の契約したところの、差し支えなければ、これは抗体医薬なのか、それ以外なのか。何か言えることがあれば。

海外の、北米の PLAJEX 好調とおっしゃっているのは、もう商用化されているものですね。

三好：1点目の部分に関しましては、すみません、直接的な言及の部分はこちらでは差し控えさせていただきます。

2点目の部分に関しましては、これから商用化されるということで、本格的に展開していくと聞いております。

甲谷様：分かりました。ありがとうございます。

葭原様：UBS 証券の葭原です。よろしくお願いたします。

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。また、この資料に含まれている製品(開発中のものを含む)に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

1点目は販管費のところですか。冒頭のご説明でも、今後もしっかり、1Qもコントロールしたし、今後もコントロールしていくということで、販管費率を拝見すると、結構この1Qは低い水準だったのかなと思います。ここにちょっと一過性の要因が、念のためなかったのかというところで、この水準感が今後も続いていくと考えてよいのか、その辺りについてもコメントしていただければと思います。

萩本：ありがとうございます。

こちらの販管費に関しましては、特に増加傾向が見られていますのが人件費になります。こちらは先ほど三好からもありましたとおり、販売に対する強化というところの人員の増加とか、あとは好調だったというところもありまして、セールスに対する賞与、そういったものの引き当てを積んでいるというのが、多く増えている要因となっています。

一方、一時的な要因と言いました部分ですが、これはやはり研究開発費ですね。これは年間で見ますと、やはりおしなべて、先に進むにつれてちょっと増加という傾向にはなっておりますけれども、その分が1Qとしては抑えられたというのが、ある意味一過性のものかなとは言えるかと思っています。

ただ、われわれでしっかりコントロールできるものは引き続きコントロールしていきたいと思っていますので、極力、売上に伴う変動費の部分は、もちろん率をどうやって下げていくかというのは考えていきますし、固定費の部分に関しては、固定費ですので、物価上昇率を超えないという程度でマネージしていきたいと考えております。

葭原様：確認ですが、追加的にいろいろなプロジェクトを走らせているという理解でよろしいですか。

萩本：はい。こちらはVCスクエアの一環として、いくつかのそういったコスト削減、必ずしも全部がSGAに効くわけではないですけれども、コスト削減のプロジェクトは継続して進めております。

葭原様：ありがとうございます。

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。また、この資料に含まれている製品(開発中のものを含む)に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

2点目はアメリカの市場環境について、特に TIS を中心に、特に大きな変化はないかということでお伺いさせていただきます。御社、個社の特殊要因は除いたベースで、症例数について、足元はおそらく好調だと思うんですけども、可能でしたら年末ぐらいまでの見通しとか、ないと思うんですけど、大統領選がある中で、何か医療政策とかで御社が気にされていることがあればご教示ください。

萩本：足元の市場の環境に関しましては、われわれとしましては、先ほど最後に申し上げましたとおり、特に懸念はないかなと考えておりますので、特に TIS 事業においても順調に推移していくのではないかと、われわれのほうでは捉えております。

三好：追加で、症例数の部分等も、基本的には循環器関連に関しましては一桁の前半の伸長と聞いております。また、それ以外のペリフェラルとかニューロの部分に関しましても、今までどおり一桁の後半で伸長しているとは聞いておりますので、そういった意味では、今のところマーケット自体も症例自体もそんなに大きく変化はないかなと見ております。

葭原様：承知いたしました。ありがとうございます。

三好：ありがとうございます。

甲谷様：みずほ証券の甲谷です。追加で1点だけです。

甲府工場は今、520億ぐらい投資されていて、こういった PLAJEX も含めて、そういったところの供給を強化しているということですけど、今回新しい契約合意に伴い、設備投資はたぶん必要だと思うんですけども、それに関して規模感なり、どの辺の時期でそういう発表ができるのかも含めて、規模感を教えていただけますでしょうか。

三好：細かい中身の部分に関しましては、申し訳ございません、ここではできないんですけども、おっしゃるとおり、先ほど申し上げましたとおり、ようやく提携をまず契約ができたというところで、ここか

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。また、この資料に含まれている製品(開発中のものを含む)に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

らパートナーさんと一緒に中身といいますか、開発の部分等も含めて進めていくということで、投資の部分に関しましても、もう少し具体的になってきましたら、またいろいろとシェアできるかなと思っております。

既存の、今われわれが持っているプラントをベースに、そこに設備投資を今後していくというご理解をいただければと思います。

甲谷様：ということは、要するに甲府ならびに山口か何かで作るけれども、追加の設備は必要だということですね。

三好：はい。そのようなご認識でいただければと思います。

甲谷様：分かりました。ありがとうございます。

渡辺様：渡辺でございます。ありがとうございます。

マージンですけれども、TBCTのところのOPマージンについてです。Q1は非常によくできていて14%だと思っています。私、間違っているかもしれませんが、通期のそもそものご計画が12ぐらいだったと思うんですけれども。12.5ですかね。

三好：はい。

渡辺様：なので、この状況が、四半期が進むにつれてマージンがより改善していくものだとして理解していたんですけれども、Q1の段階でここまで出てしまうということは、これから先マージンはどうなるのかと。いろいろ特殊要因とかもあるのかもしれませんが、お見立てとかなり乖離が出てきているのか、それとも想定どおりなのか。特にこの率というところに絞って少しご解説をいただくと助かります。

萩本：ご質問ありがとうございます。

こちらの率に関しましては、四半期が進むにつれてRikaの導入が進み改善していくのはご認識のとおり

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。また、この資料に含まれている製品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

ですが、Q1 に関しては既存事業の好調による売上増による粗利増と、他に特殊要因もありまして少し想定よりも高く出ていた状況です。

渡辺様：ありがとうございます。

確認ですが、この 14%というのは、特段出来過ぎというわけではなくて、そもそも Q1 はこのくらいあってしかるべきだったという感じですか。

萩本：そうですね。多少数パーセントの変動はございますけれども、基本的にはわれわれの想定と大きくずれて上振れしているということにはならないと考えております。

渡辺様：よく分かりました。ありがとうございます。以上でございます。

バーカー様：ジェフリーズ証券のステイブン・バーカーです。よろしくお願いします。

Rika に関してお伺いしたいです。今現在、CSL さんとの約束によると、他社への販売はできない現状だと思うんですけれども、いつ頃その縛りがなくなるのか、まずお聞きしたいと思います。そして、マーケットシェアに関して、もしも来年の夏までに CSL さんの全てのアメリカのセンターに入っていくと、御社の計算によると、その時点でどれぐらい世界のマーケットシェアを獲得していることになるんでしょうか。よろしくお願いします。

萩本：ありがとうございます。

先ほど申し上げましたとおり、100 センターぐらいまで、3 分の 1 ぐらいまで、CSL さんとの契約の中でのロールアウトは順調に進んでございます。だいたい 25 年の春先、夏前までに導入の部分の完了はしていくとは思いますが、その後も継続的に CSL のパートナーシップというのは続きますし、この市場の中でわれわれのマシンがきちんと使われていくといったことのフォローアップ、ここはお互いにコミットはしてございますので、継続して展開していくということになります。

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。また、この資料に含まれている製品(開発中のものを含む)に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

もちろん、それ以外のポテンシャルのパートナーさんという部分に関しましては、まずはきちんと CSL さんとのロールアウトが進んで、きちんと市場の中で展開が進んだ後にということで、おそらくですけども、26 年度以降というのが、われわれが元々見ていたところではございますので、そういったことになると思います。

CSL さんとのロールアウトが完了しますと、米国の市場の中のだいたい 3 分の 1 強が取れる、マーケットシェアが取れるということになってございますので、全世界で見ると 20 から 25% ぐらいのマーケットシェアが取れるのではないかという見立てをしております。

バーカー様：というのは、将来的に CSL さんとの全てのアメリカのセンターに入ってから、他社への発売ができるようになって、さらに御社のマーケットシェア、世界のマーケットシェアを獲得したいと。では、どこまで、独占法になる心配はあると思うんですけども、世界のマーケットシェアの 5 割まで獲得することは可能でしょうか。

萩本：われわれは、Rika のプラットフォームと、そこに関連するようなパートナーさんに提供できる価値は非常に優れているものだと考えておりますので、それぞれのパートナーさんといろいろな話し合いをしていきながら、マーケットの展開も考えていきたいと考えております。

バーカー様：ありがとうございます。以上です。

森様：野村証券の森です。ありがとうございます。1 点だけです。

M&A に関して、定性的なことでもいいので教えてください。株主総会后、取締役の構成が変わったと思います。それによって、社内で M&A が加速しているのか、検討が進んでいるのか。それは足し算だけではなくて引き算もお話が進んでいるのか。定性的なお話だけで結構です。よろしく申し上げます。

萩本：ありがとうございます。そのご質問に関しましては私より返答させていただきます。

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。また、この資料に含まれている製品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

M&A、もちろん足し算、引き算の議論に関しましては、取締役以前でも経営会議といったような場とか、数多くのマネジメントが集まる会議体においても、トピックとして取り上げているというのが現状でございます。

ですので、まだこれといって、こういうことをやりますという発表までは至っておりませんが、4月以降、新経営体制になってからは、しっかりとこの足し算、引き算の議論は社内では進めている状況になっております。

森様：ありがとうございます。4月以降の変化はなくて、取締役会の構成が変わった後に、特に変わっていないということですね。

萩本：はい。こちらはもちろん取締役会の変換は6月以降に行われましたけれども、既に4月1日付で新経営陣がスタートしておりますので、その部分で議論が活発にされているとご理解いただければと思います。

森様：分かりました。以上です。ありがとうございます。

齋藤様：JP モルガン証券の齋藤と申します。大変失礼しました。

中国のVBPの影響についてお伺いしたいです。今期の計画では、アクセス製品に関してVBPの影響はそれほど大きくないという計画ではあったと思うんですけれども、省によって状況が違って、四半期ごとに順次進んでいくような、そういった影響になるのではといった前提だったと思います。1Qの影響と今後の見通しについて教えていただけますでしょうか。よろしく願いいたします。

三好：ありがとうございます。

VBPの影響の部分に関しましては、中国においては、弊社の製品、TISの製品が結構ウエートを占めるんですけど、その中でもアクセス製品が実はウエートが大きくて、弊社にとってみますと、このアクセス

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。また、この資料に含まれている製品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

製品のVBPのインパクトは比較的大きいと認識してございまして、そういった形でガイダンスにも織り込んでいるというのが実情でございます。

その中で、4月から新価格の適用が始まっておりまして、もう19省ですね、河南の19省においては、4月にはもうほぼ全部、アクセス製品に関しましては新価格の適用になってしまうと聞いております。われわれは四半期ごとに価格の下落で10億程度を想定しておりましたけれども、この部分に関しましては、第1クォーターもマイナス8のインパクトがあったと見ております。

一方で、先ほどもお話しいたしましたけれども、物量の部分が、買い控えとか、代理店が少しストックを抑えていた部分が戻ってきたということで、第1クォーターの部分に関しましては、価格が下がった一方で、物流のほうが上がっておりますので、相殺するとVBP影響といえますか、中国のTISの売上のVBPに関わる部分に関しましては、ほぼフラットに近いような形で推移しております。

一方、この先ではございますけれども、この代理店の、少し多めに購入していただいた部分が、回転をしていくことによって、少し平準化されていくということ。一方で、価格の部分に関しましては、インパクトが継続して残っていくということで、アクセス製品の部分に関しましては少しネガティブインパクトが続くと見ております。

齋藤様：ありがとうございます。期初計画から通期見通しに関しても変わっていないということで理解いたしました。

三好：はい、そのとおりです。

齋藤様：ありがとうございます。以上でございます。

徳本様：すみません、再びの質問で恐縮です。徳本です。

粗利の考え方について教えていただきたいです。ファーストクォーター53.3%というので、久方ぶりの水

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。また、この資料に含まれている製品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

準みたいなところまで上がっていると思うんですが、Rika の先行投資とか、もろもろの事業環境を考えると、かなり強い数字だと思います。

ここからの考え方で見ると、下期にかけては、さらに改善効果が出てくる、粗利が改善する余地はあるのか。あと、ここから数年で見たときでは、当然 Rika を含めて立ち上がってくるとすると、通常計算でさらに粗利も上がるんじゃないかという気もしたんですが、この粗利の考え方について教えていただきたいです。あと、先ほどの 30 億の一時費用、一時的なもの、売上の数字の考え方でよかったですでしょうか。

この 2 点の確認でした。お願いします。

三好：ありがとうございます。では、GP の部分を。

萩本：GP に関しましては、現時点では非常に 1Q、特に大きなオペレーション上の問題もなく、生産もしっかり安定していたということができましたので、久しぶりにこういった形の粗利を計上できたと考えています。

一方、今後どうなるかという部分ですが、もちろんわれわれの事業としての構造に関しましては、比較的もう安定しているというのが現状でございますので、この粗利率が大きく変動するというのは、内部的な事情で起こるというのはあまりないかなと考えています。

一方、やはりこういった原材料の高騰とか、中東の情勢等によって、海上輸送ですね、こういったところの変動が、われわれとしては引き続き注視していく必要があるなと思っていますので、そういったところで粗利に対して悪影響を与える可能性があるというのは、現在も認識しているところです。

三好：少し補足しますと、マージンのポイントの改善の部分に関しましては、為替もかなり効いているところもご認識いただければと思います。

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。また、この資料に含まれている製品(開発中のものを含む)に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

あと、今、萩本が言いましたとおり、GP 率の効果が結構ポジティブにかなり出ていますけれども、こちらは、昨年度はインフレですね、結構いくつか、フレートとか電力の部分が高かったんですけども、こちらが少し落ち着いたというところの影響も出ているのと同時に、今、精力的に進めてございます収益改善策ですね、VC スクエアなどのポジティブなインパクトが結構出ていますので、この辺が結構 GP に効いているといったところがございます。

あとは、先ほどの 30 億の部分ですね。改めて整理いたしますと、TIS の中国の部分がだいたいプラス 9 億で、ニューロの部分プラス 7 です。MCS に移りまして、北米の獣医の部分プラス 7。あとは BSN、こちらはストッキングの部分になりますけど、こちらがプラス 6。

こちらでよろしいでしょうか。

徳本様：これは営業利益ですと、売上高の影響。

三好：売上です。

徳本様：失礼しました。ありがとうございます。

以上